

カトリック河原町教会だより

2013年4月

第266代 教皇フランシスコ

3月13日、アルゼンチン出身のホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿が第266代教皇に選出されました。新教皇名はフランシスコ。教皇はマスコミ関係者との会見の中で、フランシスコという教皇名を選んだ理由について、アッシジのフランシスコは、自分にとって「清貧、平和の人、そして自然を愛し守る人」で、この名が「清貧な、貧しい人のための教会」という自分の望みと重なったと述べられました。



というキリスト者の召命に生きようとして話されました。また、美しい自然や自分たちが生活する環境を「守り」、お年寄り、子どもたち、弱い立場にある人々など、すべての人間を「守る」ことの大切さを強調し、すべての人に、自分自身の心を守り、人生を汚す憎しみやねたみではなく、優しさや思いやりを持つようと話されました。

■自然や人間を守り、

キリストをわたしたちの生活の中で守る

カトリック教会の典礼暦で聖ヨセフの祭日である3月19日、教皇フランシスコの教皇職開始を記念するミサがとり行われました。このミサの説教の中で教皇は、キリストを「守る」という召命に生きた聖ヨセフに学ぶよう、また、「キリストをわたしたちの生活の中で守る」

■新教皇フランシスコ略歴

- 1936年12月17日アルゼンチン、ブエノスアイレス生まれ(76歳)
- 1958年イエズス会入会
- 1969年司祭叙階
- 1992年ブエノスアイレス補佐司教
- 1998年ブエノスアイレス大司教
- 2001年ヨハネ・パウロ2世より枢機卿に叙任

主は生きておられる (復活の意義)

「主は復活された」(マタイ28・6-7 マルコ16・6)「主は生きておられる」(ルカ24・5-6)「わたしたちは復活された主を見た」(ヨハネ20・18、20、25、29)と使徒たちは復活の事実を愛とまことをもって人々に証しました。私たちが「愛とまことをもって信じ、受け入れ、この福音に生きています」というのがキリスト者の信仰告白です。

主は確かに私たちのために苦しみを受け、十字架にかかってお亡くなりになりました。それは私たちに罪の赦しを与えるため、生命を捧げてくださった神の愛の極みです。また、神がそのキリストを復活させ、栄光の座に着かせられたのも、神の愛の極みです。

主の復活は私たちに罪の赦しを与え、水と聖霊によって私たちが「神の子」とし、神の命に与らせて下さる信仰の神秘であり、神の愛の神秘です(ロマ5・8)。復活の信仰は、私たちの希望や期待、あるいは幻覚や想像が生み出したものではなく、罪と死に打ち勝ち「生きていて下さる」ことを主ご自身が現わされたことによるものであり、「キリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰は空しい」(1

コリ15・17)」と言われるほど本質的なキリスト教信仰です。また、洗礼を受けるということは、キリストの死と復活にあやかることだと言われます(ロマ6)。では、その私たちが『復活し、生きておられる主』と出会うのはどこであるか?はエマオの弟子との出会いの中で、印象深く語られています。それは、主が語られるみ言葉の中で、主が差し出されるご聖体の秘跡の中でだと。そうです、まさにごミサこそ復活されたキリストとの出会いの場なのです。生きておられる復活の主に出会い、復活の証人として選ばれた人々、特にペトロ、パウロ、トマス、マリア・マグダレナ等は、みな問題のあった人々でした。その彼らが復活の主に出会う場面は復活の深い意味を悟らせ、私たちが根底から変容させてしまうような感動的な事件です。それはまた、主にふさわしくないと思う私たち一人一人に深い驚きや喜びを、希望や信仰をもたらすメッセージであり、そしてそれが、小さく、貧しく、へりくだる者、主を愛する者が歌うマニフィカト(讃歌)となるのです。主が愛に満ちて私たちの前に立っておられる、私たちは神の愛と命に包まれて生きている、これが復活の喜びであり、信仰です。(村上透磨)



こたちはな ただし 小立花 忠 神父様

司祭叙階おめでとうございます

ヨハネ・マリア・ヴィアンネ 小立花忠助祭の司祭叙階式が、3月20日(水)11時より大塚司教司式により、聖堂で行われました。



日本各地からの多くの司祭、済州教区からの司祭、信徒の皆さんと共に司祭誕生を喜び、祝いました。河原町教会出身者の司祭叙階式は20年ぶりです。式後ヴァリオンホールでお祝いの会が催されました。

司祭として京都南部地区洛北ブロック担当司祭に任命されました。

司祭とされて 小立花忠神父

「どうして、司祭になろうと思ったのですか？」と質問されます。今、ふり返ってみて、人知を超えた神様の不思議なお導きなのだと思います。



「どのような司祭になりたいですか？」と質問されます。神様が私のうちで働いて下さるように、できるだけ自分の理想を描かないようにしています。これまでの皆様からのお祈りと励ましに、心から感謝しています。司祭としての歩みは始まったばかりです。私は皆様のお祈りを必要としています。よろしく願います。

♪ 聖歌を歌おう ♪ 河原町教会聖歌隊

河原町教会聖歌隊は、司教座聖堂の聖歌隊として主日のミサや教区の行事(堅信式や司祭叙階式等)、小教区での冠婚葬祭等で聖歌の奉仕をしています。メンバーは現在約40名。「聖歌を歌うことは2倍のお祈り」をモットーに楽しく和気あいあいと奉仕しています。聖歌隊の歌う歌は、典礼聖歌の他にテゼやミサ曲や伝統的な行事の歌があります。復活祭ではグノーの聖セシリアのための荘厳ミサ曲(編集曲)を歌っています。聖歌隊はミサのとき聖堂入り口上の楽廊(がくろう)で歌っています。また、ここにはドイツ・ボッシュ社製のパイプオルガンが設置されています。



練習風景

昨年からミサの前に、皆さんと当日の聖歌を練習してい

ます。聖歌集は入口の棚に置いてあります。ご自由にお使いください。

■聖歌隊のメンバーを募集しています

聖歌隊の練習は主日ミサの前とミサ後に行っています。興味をお持ちの方は、どなたでも気軽に楽廊に見学に来てください。



パイプオルガン



「クリスマス市民の集い」でのコンサート

世界祈祷日 京都集会開催

3月1日(金)午後1時半よりカトリック河原町教会聖堂で、世界祈祷日京都集会が開催されました。今年日本ナザレン教団が当番教会となり、9教派2団体、180名以上の方が参加されました。

世界祈祷日は、全世界のキリスト者が、その年のテーマに沿って、その国が抱える問題や苦しみに心を寄せながら、祈りをともにする日です。カトリックやプロテスタントの宗派を超えて、170の国や地域で、毎年3月第1金曜日に開催されています。

- ▼協議事項
- ① 十字架の道行 四旬節の金曜日に行っている「十字架の道行」を来年から十時半の主日ミサの前にも行うことを検討する
 - ② 現在の衣笠墓苑管理委員の退任後(二〇一五年)、教会役員のうち二名が兼務する。また、個人墓地の共同墓参や清掃の支援方法については、教会役員会で検討する
 - ③ 各部会の活動内容についての規定を評議会できりまとめる
 - ④ 復活祭パーティーの催し内容及び担当は昨年と同様とし、新たにたこ焼きを加える。会場設営と後片づけは施設管理部主導のもとに行うが、多くの人の手助けが必要で、準備と後片付けのボランティアを募る
 - ⑤ 河原町教会 任意団体規定、施設使用規定が再整備したので、次回評議会にて決定する

四旬節黙想会

分かち合ったご聖体で一体感と兄弟意識を

指導 溝部 脩 司教

京都南部地区洛東ブロックの四旬節黙想会が、3月3日(日)伏見教会において、溝部司教様ご指導のもと、午前10時からのミサに続いて行われました。ブロック内の教会からの信徒で、聖堂はいっぱいになりました。午前の部では「ゆるしの秘跡」、午後の部では「聖体とミサの秘跡」について話されました。

.....

1. ゆるしの秘跡について

■神との出会いによって罪に気づく

ゆるしの秘跡での告白とは、自分の心の奥底にある暗いドロドロとしたものに向き合うということです。告解室で、日記を読み上げるように自分の罪を列挙するのではなく、罪となる行為の裏側にある、自分中心の欲望や汚れた部分を省みて、心の奥底に潜む「罪」のゆるしを願うことです。例えば、夫婦げんかの場合、「けんか」という事象ではなく、その奥に潜む、自分は正しいという「高ぶり」とか、相手への「さげすみ」という内面の罪に対する告解が大切になるのです。

そして、この罪は神との出会いを通してのみ、はじめて気づかされるものなのです。ガリラヤ湖で主に出会って、「主よ、わたしから離れて下さい。わたしは罪深い者なのです」と言ったペトロのように(ルカ5・8)。

■罪に対する償いは必要です

司祭には罪をゆるす権能が神から与えられています。告解室でしかゆるしの秘跡ができないわけではなく、自分の行いや悩みを司祭に相談し、司祭がそれにゆるしを与えることは、例えば散歩をしながらでもできます。犯した罪には「目に見える償い」が必要です。盗んだ物は返し、ののしった相手には言葉と行為で償い、もしも人に深い傷を与えたなら生涯をかけて償わなくてはなりません。一方「目に見えない償い」は、心からの「祈り」です。そのようなわたしたちですが、ミサでご聖体に与るたびに、神から「ゆるし」をいただいている存在なのです。

.....

2. 聖体とミサの秘跡について

■一つのパンを皆で分け合う

ミサの原型は皆で食事を共にしている時に、一つのパンをさいて皆で分け合っていたことにあります。初期の教会の家庭教会では、信者の家に司祭が赴き、十数人が集い食卓を囲みミサをささげていました。分かち合ったパン(=ご聖体)を通じて信徒の一体感や兄弟意識が生まれていました。

十字架上でわたしたちのためにささげられたキリストの「現存のしるし」であるパン(キリストの体)は、まさにミサの中心です。今の教会には、家庭教会



伏見教会での溝部司教様

の頃の「信仰共同体」の意識、信徒が一つになる姿勢が問われています。

■誰のためにささげるミサですか？

ミサは、自分の心の安らぎのためや義務感から受けるものではありません。他の誰かのためにささげる、ということ意識してミサに与ってください。ミサの始まる前に、今日のミサを誰のためにささげるか、「意向」を明確にしてみてください。知人でもいい、離れた地域の人々のためでもいい、今一番気になっている人のためでもいい。ミサを通じて祈ることで、神がお聞き届けになります。ミサは、信徒が一つになって、そこにおられるキリストと共にささげるものなのです。

■聖歌は神への祈り

キリストの死と復活を常に思い起こしてください。生きている限り、それを賛えることが大切です。人生の最後の瞬間まで神を賛美することができれば、これほど素晴らしいことはありません。教会は神を賛美する共同体です。聖歌隊の歌声に合わせ、是非、声を出して心をこめて歌い神を賛美してください。賛美の歌は、わたしたちが神にささげる「祈り」なのです。

河原町教会三月評議会報告

▼司祭団より

洛東ブロック司祭異動(三月三日付)一場修司祭、洛東ブロック担当司祭(着任は四月からの予定)村上眞理雄司祭、村上透磨司祭
京都南部地区協力司祭

▼「分かち合い」について

「信仰をテーマにした分かち合いを小教区で取り組んでほしい。年頭書簡を参考にした小教区での信仰の分かち合いを絶やさないように(二〇一二年十二月八日 宣教司牧評議会)」という、大塚司教の言葉を受けて、「分かち合い」の基本的なルールを学び、行う。今後、評議会の始まる前に「分かち合い」を行う

▼部会報告

典礼部…聖堂整理マニュアル、担当者一覧を聖堂内に掲示の準備
財務部…聖堂エレベーター設置の検討
それに伴う特別献金の検討。聖堂の耐震検査の検討
施設管理部…新しい献金箱の検討
広報部…教会規約を聖堂のうしろに掲示
教育部…中高生会、土曜学校、侍者合宿等の計画等の報告

▼行事予定

三月、四月については四頁の行事予定に記載の通り

●2013年4月～2013年6月の行事予定●

(2013年5月、6月は予定です。変更の場合もあります。)

| 祝・記念日 | | 行 事 予 定 |
|-------|---|--|
| 4/7 | 日 | 神のいつくしみの主日 子ども初聖体 10時半ミサ ミサ後パーティー 評議会 4月例会 |
| 4/14 | 日 | 教区新受洗者のミサ 14時 |
| 4/21 | 日 | エリの集いバザー 10時半ミサ後 |
| 5/5 | 日 | 評議会 5月例会 |
| 5/19 | 日 | 聖霊降臨の主日 南部地区合同堅信式 14時 |
| 5/26 | 日 | 三位一体の主日 衣笠墓地清掃(1回目) |
| 6/2 | 日 | 評議会 6月例会 |
| 6/23 | 日 | 大塚司教様、花井神父様霊名のお祝い 10時半ミサ |
| 6/30 | 日 | 教会美化デー |

お知らせ (敬称略)

ぶどうの会 山口巡礼1泊2日の旅のご案内

日 程 5月28日(火)～29日(水)

集 合 5月28日 午前11時

京都駅八条口団体乗り場

巡礼地 山口ザビエル記念聖堂⇒津和野乙女峠マリア小聖堂⇒萩(萩本陣宿泊)⇒萩キリシタン殉教者記念公園(野外ミサの予定)⇒海鮮村・北長門

参加費 49,800円

募集員数 45名



津和野乙女峠マリア小聖堂

…津和野はキリシタン弾圧「浦上四番崩れ」と
ヴィリオン神父様ゆかりの地…

津和野の乙女峠では「浦上四番崩れ」の弾圧により多くの信徒が命を落としました。キリシタンたちは着のみ着のまま、雪深い津和野に送られ、過酷な扱いを受けました。それでもキリシタンたちは棄教することなく殉教を遂げました。河原町教会の前の聖堂の建立に力を尽くしたヴィリオン神父は献堂前に山口に派遣されており、1892年(明治25年)乙女峠に葬られた殉教者たちの遺骨を一つの墓に集めました。広島教区では、この人々を福者とするための運動をはじめています。

◇郵送サービスのお知らせ

「河原町教会だより」を教会に来られない方々に郵送いたします。ご希望の方は送り先の名前と郵便番号、住所を教会事務室までお知らせください。

◇お願い:ご家庭で眠っている未使用の切手がありましたら、3階教会事務室までお願いします。「河原町教会だより」の郵送に使わせていただきます。

◇「河原町教会だより」は河原町教会ホームページに掲載しています。

河原町教会 ミサの時間

| | | |
|------------|---------------|-------|
| 日曜日(主日のミサ) | 7:00 | |
| | 10:30 | |
| | 12:00 (英語) | |
| 月曜日 | 6:30 | |
| 火曜日 | 6:30 | 18:30 |
| 水曜日 | 6:30 | 18:30 |
| 木曜日 | 6:30 | |
| 金曜日 | 6:30 | 18:30 |
| 土曜日 | 6:30 | |
| | 18:30 (主日のミサ) | |

信仰の学びの講座・集い

どなたでも自由に参加できます。

◆信仰入門講座◆

(場所:1階集会室)

| | | |
|-----|-------|-----------|
| 火曜日 | 10:00 | 花井 拓夫 神父 |
| | 19:15 | ポアペール 神父 |
| 水曜日 | 10:00 | 村上 眞理雄 神父 |
| | 19:15 | ポアペール 神父 |
| | 19:00 | 花井 拓夫 神父 |
| | | (3階 応接室) |
| 金曜日 | 19:15 | 村上 透磨 神父 |

◆信徒養成講座◆

(場所:1階集会室)

信仰をより深めたい信徒の方のための講座です。

担当司祭 北村 善朗 神父

テーマ 「秘跡を学ぶ」

4/11 (木) 14:00

5/9 (木) 14:00

6/6 (木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◆聖書通読会◆

(場所:1階集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

毎週1回金曜日、旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。途中からでも参加できます。

主催:教育部